

5.5時間クロストーク

わたしは
なぜ

「作業場」

を続けたい
のか?

～「作業場@旧今宮小学校」ちょちょまう現地点～

2026年3月20日(金・祝) 13:00-18:30頃(出入り自由)

西成区民センター 会議室2-1 (大阪市西成区岸里1-1-50)

参加費=500円 定員=30名(要申込)

主催 | ちょちょまうウアナキュラー実行委員会 (西成区役所、一般社団法人brk collective)
助成 | 一般財団法人地域創造

作業場インスタ

chochovana.net

グラフィックデザイン | Studio Kentaro Nakamura

ちょちょまうウアナ事務局 | 高岩みのり・松尾真由子・田城照兜・堤悠

●地下鉄四つ橋線 「岸里駅」 2号出口東へ1分
●地下鉄堺筋線 / 南海本線 「天下茶屋駅」 西出口南へ5分

参加費500円





わたしはなぜ 作業場 を続けたいのか？



西成区のアートプロジェクト「ちょちょまうヴァナキュラー」では、美術家・小山田徹さんをゲストに迎え「5.5時間クロストーク わたしはなぜ『作業場』を続けたいのか? 「～作業場@旧今宮小学校」のちょちょまう現地～」を開催します。

昨年度のクロストークでは、《作業場》で活動をともにしてきた教育・福祉分野の協働機関スタッフ「それぞれ」を主語に据えながら、《作業場》の有り様を掘り下げました。

今回は、その時間を踏まえつつ、視点をあらためて主催者であるわたしたち自身へと引き寄せます。前半は、きむらとしろうじんじんと事務局メンバーによる2年間の《作業場》の振り返りと、3月に《作業場》で公開制作を行う美術家・黒川岳のこれまでと現在制作中の作品紹介、さらに《おとあつめ》メンバー4人による“2025ベストおとあつめ”を聴く時間を設けます。

後半は、小山田さんがこれまでに立ち上げてこられた多様な「共有空間」の実践をご紹介いただき、続くクロストークでは、その実践と《作業場》2年間の右往左往の歩みとを往還させながら、改めて地域に根ざしたアートプロジェクトの可能性を探ります。

プログラム



《作業場》のこれまでといま：13:00—13:40

きむらとしろうじんじん（美術家）、
高岩みのり・松尾真由子、田城照兜、堤悠（ちょちょまう事務局）



活動紹介：13:40—14:20

黒川岳（美術家）



《おとあつめ》2025：14:30—15:30

江崎将史、カメイナホコ、光永惟行、米子匡司



共有空間について 15:40—16:20

小山田徹（美術家）



クロストーク（質疑応答含む）16:30—18:30

*各プログラムの時間は変更となる可能性があります。

プロフィール

小山田徹（美術家）/京都市立芸術大学学長

1961年鹿児島県生まれ。1981年に京都市立芸術大学入学、日本画を学ぶ。在学中に友人たちとパフォーマンスグループdumb typeを立ち上げ、国内外での公演に数多く招かれる。活動の中で、メンバーのHIV感染とエイズ発症を機に、さまざまな社会活動と表現のありかたを試すことになり、1998年頃から、共有空間の獲得をテーマに活動を行う。焚き火場などさまざまな人々が集い、交流する空間や時間を開発し、社会実装を試みている。2010年から本学の彫刻の専任教員となる。2021年10月から美術学部長、2025年4月から現職。

黒川岳（美術家）

1994年島根県生まれ。京都府在住。2016年東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科卒業、2018年京都市立芸術大学大学院彫刻専攻修士課程修了。

自らの体で様々な物・事にきちんと触れる（触れようとする）ことの喜びや不思議さ、難しさなど向き合いながら、音楽や彫刻の手法を用いて作品制作を行っている。令和5年度京都市芸術文化特別奨励制度認定者。

きむらとしろうじんじん（美術家）

1967年新潟県生まれ、京都府在住。京都市立芸術大学大学院美術研究科で陶芸を学ぶ。1995年より「野点(のだて)ー焼立器飲茶美味窯付移動車」を全国各地で開催している。2014年に今宮小学校での野点を契機に「作業場」の立ち上げ・運営に関わり、現在も絶賛続行中。

おとあつめ（江崎将史、カメイナホコ、光永惟行、米子匡司）

《おとあつめ》は、《作業場》を起点としてスタートした、新たな「音楽」のプロジェクト。楽器や《作業場》にあるものを鳴らしたり、空間に響く音や声も重ねたり、繋げたり、録音したりして音楽をつくっている。

お申し込み方法・お問い合わせ

開催前日までにTEL/E-mailまたは専用フォームよりお申し込みください。なお、定員に達しなかった場合は、当日の受付も行います。
TEL: 070-5046-8667
E-mail: info@chochovana.net

専用フォーム



作業場@旧今宮小学校

《作業場》は2015年に廃校になった今宮小学校の校庭の一角で、美術家のきむらとしろうじんじんらとともにスタートしました。じんじんの言う“ええ風景”を掘り所に、小学校に残る陶芸窯や学習園、廃材、倉庫などを活用し、誰もが立ち寄りやすくなる場を目指して定期的にオープンしています。⇒3月のオープン日：3/7(土)、8(日) 13:00～16:30ごろ

ちょちょまうヴァナキュラー

「ちょちょまう」=うっかり何かをしてかしてしまう様子。「ヴァナキュラー」=風土。その土地で新たに何かを実験したり、挑戦してみようとしたときに起こる大小様々な事象と、そこから生まれる人や場所との関係性や関わりなどの蓄積がその土地の風土を形成していくものと考え名付けられました。西成区をフィールドに「アート」を媒介に生まれる出会いやできごと、関係性を通じて持続可能な地域共生社会を実現すること、地域の未来を担う次世代の創造性人材育成を目的として実施しています。